

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中 報告日 2019年10月28日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(3日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

| | | | |
|-------|----------------------|---------|--------------|
| 団体名 | 市立小諸図書館 | 代表者名 | 土屋裕一 |
| 担当者部署 | | 連絡先電話番号 | 0267-22-1019 |
| 担当者役職 | | 担当者氏名 | |
| 住所 | 384-0025 長野県小諸市3-3-3 | | |

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

| | |
|-----------------------------|---|
| アドバイザー | 岡本 真 |
| 評価 | 大変よい |
| 上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に) | 第1部では、ひとりひとりの疑問に対し、丁寧に答えて頂いた。始まったばかりの活動で、検討がつかず「不安」であったり「疑問」に思うことを職員も含め、歴史的な背景をふまえて豊富な知識や経験の中からひとつひとつ示唆をいただくことができた。第2部では、具体的な事例にも触れ、自分たちで動き出していくための直近の課題を示して頂き、参加者のなかで共有することができたので、活動への目安ができたと思う。 |
| アドバイザーへの要望事項 | |

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

| | 派遣日 | 開始時刻 | 終了時刻 | 内休憩時間(分) | 活動時間(分) |
|-----------|-------------|----------------|--------|----------|----------|
| 3-1. 活動 | 2019年10月26日 | 13時30分 | 16時00分 | 10 | 140 |
| 3-2. 派遣場所 | 会場名 | 市立小諸図書館 | | 最寄駅 | しなの鉄道小諸駅 |
| | 所在地 | 長野県小諸市相生町3-3-3 | | | |
| | 最寄駅からの交通手段 | 徒歩 | | | |

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

| | |
|------|---|
| 掲載許可 | <input checked="" type="checkbox"/> 掲載可 |
|------|---|

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

| | | |
|--|---|-------------------|
| 5-1. 支援を受けた対象者 | 属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】 | 人数 |
| | 一般、職員 | 14人 |
| 5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果 | | |
| 事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい) | 実際に、第1回の「友の会(仮)」会議を開催し、活動についての提案を聞き合う中で、議論し取りまとめていく難しさをお互いを感じている。職員(事務局)に依存することなく自立した会となるためには、時間をかけて信頼関係を築きながら試行錯誤を繰り返していくことが必要だと考える。そのためには、会の方針や使命をしっかりと会の中で共有し、人が変わっても続いていく仕組みを構築しなければならない。頭ではわかっているが、実際にはどこから手を付けていいのかが整理ができていないのが現状である。 | |
| 支援により目指す成果(具体的にご記入下さい) | 自分で考え、自分で行動していく「自治」を実践し、会の意義を会員一人一人が自覚し、「図書館」だけにとどまらない小諸市の未来に向けた「まちづくり」を視野にいれた団体となるよう、まずは土台となる会の基盤を共に築いていくこと。 | |
| アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい) | 「図書館友の会」のそもそもの意義と、市の実情を鑑みこれから先の未来に向けた会の在り方への提言をいただいた。その上で、今スタート地点に立ったばかりの会と会員に向けて、職員を含めた会員の姿勢と、まず考えなければならぬ具体的な事項を提示してもらった。 | |
| 支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい) | これから自分たちで実際の具体的な活動に入っていくうえで、何から議論していかなければならないか、明らかにした。土台となるものを会員でしっかり議論し、会の根幹を創り上げることからはじめていきたい。また、会員であることの誇りを持ってもらうための具体的な企画またはモノの検討に入っていきたい。 | |
| 具体的な成果物 | 最も当てはまるものをリストより選択下さい。 | ②事業に係るシステムを構築できた |
| 改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容(具体的にご記入ください) | これから会員が集まって、ひとつひとつ議論し、決めて、行動していく。 | |
| アンケートの内容と分析結果 | 講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 次回の「友の会」会議も決定しており(11月2日)、あえてアンケートはとらず、これから先実際に動いていく職員を含めた会員で、これからの活動を「成果」とする。 | |
| 5-3. 今後の計画 | 最も当てはまるもののリストより選択下さい | ④予算以外で、今後取組む事項がある |
| 事業の最終的な目指す姿 | 「図書館友の会」と「図書館」が、共に市民や利用者を巻き込みながら、地域の「公共図書館」を「公共」として守り、育てていける仕組みを創ること。自立した対等な組織として、市にも依存しない運営を目指し、図書館を拠点としたまちづくりの視点を会員ひとりひとりが持つこと。 | |

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

